

- 千種町（千種川水系） 黒土、岩野辺、内海、荒尾、宝の木、奥西山、川井、西河内口、天児屋、
西河内中野、戸井の元、河内中村、三室高原口
- 上月町（ ” ） 西大島、桜山、樺坂
- 三日月町（ ” ） 三原、弦谷、春哉、金山、小原、湯浅、中村、鎌倉、三日月
- 南光町（ ” ） 西下野、青木、下三河、門前、名目津輪
- 佐用町（ ” ） 淀、亀ヶ途、末包本村、末包小中山、大島王子、中山、海内上土居、高野、
海内葦畑、水根羽蔵、鴨尾、若州、奥海下村、奥海桑村、奥海奥土居
- 他に目撃のみの産地多数。

参考文献

- 山本広一（1978）兵庫県のウスバシロチョウ 昆虫と自然Vol.13 No.7
- 唐士洋一（1979）西播におけるウスバシロチョウについて てんとうむしNo.5

西宮市でウスイロコノマチョウを採集

田 中 稔

ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda* LINNAEUS を、西宮市六軒町で採集、飼育しているので報告する。

1986年9月14日の夕方、犬と散歩中にバス停新甲陽口前の駐車場の草むらより、大型のヒカゲチョウがフワフワと飛び出した。クロコノマチョウと思い、家に走って帰りネットで採集した、裏面の眼状紋のはっきりした、ウスイロコノマチョウの♀であった。手で採ろうと追いかけていた時に、ジュズダマに産卵するような動作をしたので、飼育箱にジュズダマを鉢植にしてバナナと共に入れて飼育してみた。

9月15日、11卵を産卵

9月21日、11卵がフ化

10月11日、ジュズダマの水上げが悪いため、1匹のみ残っていた。緑色で23mm位、巣をつくる。

10月30日、蛹化

11月29日、羽化失敗、裏面は褐色の濃い枯葉状の秋型

合せて、クロノマチョウ *Melanitis phedima* CRAMER の記録を報告する。

1 ♀, 神戸市住吉川上流寒天山, 2. IX. 1955, 田中稔採集

1 ♀, 神戸市住吉川上流寒天山, 10. X. 1959, 田中稔採集

(〒 662 西宮市六軒町 8-7)

オオムラサキ 絶産 になるか

東 正 雄

オオムラサキ *Sasakia charonda* HEWITSON は1957年国蝶に指定されている。北海道・本州・四国・九州に分布と記録があるが京阪神や近畿の分布について考察する。

昭和20年頃までは大阪箕面山、勝尾寺、能勢電鉄の笹部～吉川間の溪流、能勢妙見山へのケーブル乗場付近。神戸市北区大池や山の街付近、有馬温泉の鼓滝付近でも6月下旬～7月上旬姿をみた。クヌギの巨樹の樹液に吸蜜しているときには比較的採集しやすいが失敗しても梢上を占有する蝶だから、しばらくすればもとの場へ戻るので成功することもある。戦後クヌギの大きな樹木が伐採されたので最近著しく採集が困難である。川西市や猪名川町上流地域に生息していたところが食草のエノキが少なくなりクヌギが伐採されたり、宅地造成や道路改修の為に生息環境が著しく悪くなったのが阪神間で以前に採集できた場へ行っても全く見られなくなった。伊吹山麓の大平寺へのよい採集地は既に絶滅している。遠くでは鳥取県大山の山麓も以前は高度 800～850m地帯をとんでいる勇姿をたびたび目撃したが最近全くみられない。若狭の青葉山も麓の松尾寺付近は昭和10年頃かなり多くみられたが近年皆無である。台湾へ旅行したとき台湾山脈北部から中部でやや高地に分布するが著しく稀である由。なかなか採集でき難いらしい。特に♀は更に稀でやがて絶産となるだろう。台湾産は亜種で (s-sp. *formosana* SHIROZU)。中国・朝鮮亜種 (ssp. *coreana* LEACH) もある。タイプの産地は関東地方(横浜近郊?)と推察される。全国の自然保護協会の会員諸氏や日本昆虫学会、鱗翅類学会の会員たちが協力して保護するよう自然の環境を悪化しないように国蝶として指定していながら絶滅近くなったら国の宝がなくなることになり国民の子孫に対して大変残念なことになる。識者によって愛護し永遠に保護するべきである。

(1987年8月受領)